



十八年目の秋公演せまる！

短歌・詩／寺山修司
作・演出／白石 征
音楽／J・A・シーザー

安倍晴明誕生秘話

葛の葉

説教節 政太夫

恋しくば
尋ね来てみよ
和泉なる
信太の森の
うらみ葛の葉

青江 薫
村田 弘美
花岡 雪花
岡庭 秀之
加藤 史也
飛永 聖
ほか



十月二十五日(金)	五時半	料金	当日券	三、五〇〇円
二十六日(土)	三時半	前売券	三、〇〇〇円	
二十七日(日)	一時 特別シンポジウム(無料)	学生	二、〇〇〇円	
	三時半	会場	遊行寺本堂	

サーカスに見世物に、そして映画に演劇と、日本芸能の源流として流れ続けてきた永遠の母恋い物語が藤沢発信の遊行かぶきとなって展開する、感動の、捨て子童子、安倍晴明の奇想天外の地獄めぐり。

芸術文化振興基金助成

後援 藤沢市
藤沢市教育委員会
藤沢商工会議所
(公)藤沢市観光協会
(社)藤沢商店会連合会
(社)藤沢青年会議所
J-COM湘南
レディオ湘南
時宗総本山清浄光寺(遊行寺)

チケット取扱い

有隣堂 藤沢店 0466-26-1411(代)
フジサワ名店ビル 2階サービスコーナー
電子チケットぴあ pia.jp/t
0570-02-9999
(Pコード 432-417)

※当日券は会場にて発売します

遊行かぶき実行委員会

遊行舎演劇公演 TEL&FAX 0466-34-9841

遊行フォーラム2013

ユニークな藤沢発信の演劇「遊行かぶき」

文化人類学者 山口昌男



寺山修司没30年記念認定事業

中世芸能をとどめる藤沢は、片瀬の浜で行った一遍の踊り念仏をはじめ、中世絵巻「一遍聖絵」の世界がまざまざと感じられる、魅力ある街である。

とりわけ、私の関心を惹くのは、境界における地藏堂文化を有しているところだ。一年に一度の〈まつり〉を定期化して、空間的に目に見えるようにしたのが、劇場の起こりだとすれば、漂泊の説経節語りや、人形遣い、踊り念仏などが、土地の人々と膝をまじえて交流したのが、この地藏堂というものの存在であり、それが後の劇場を生み出すイメージの源流ということになるのだ。

その意味において、現在の遊行寺をホームグラウンドとして、その本堂の中に役者も観客も導き入れ、説経節を水先案内に展開する〈遊行かぶき〉は、中世における演劇の源流への遡行を窺わせて、甚だ刺激的である。

この十数年間、年中行事のように遊行舎という市民グループが公演を続けているが、演出を担当する白石氏は、生者と死者、冥界と彼岸の混淆するドラマを、寺山修司の流れをも巧みにとり入れて、ユニークな地方発信の地霊（まつり）の演劇として、すでに浅からぬ感動を多くの人々に与え続けているのである。（2010.11）



物語 ■ きつね葛の葉 — 安倍晴明誕生秘話

和泉の国（大阪府の南部）の信太の森に棲む女狐は、狐狩りの弓矢に追われたところを都の陰陽師安倍保名に救われる。

そしてその恩返しに、美しい女人に姿を変え、保名の妻葛の葉となって、平和な田舎暮らしを送っている。やがて二人の間に童子を儲けるものの、ある日思いがけず自分の素性が露顕した葛の葉は、家族への恩愛を断ち、愛しい乳飲み子を残して、ひとり狐の古巣である信太の森へと帰って行く。

恋しくば尋ねきてみよ和泉なる

信太の森の怒み葛の葉

という歌をのこして。

やがて成長した童子は、天変地異におののく都で、権勢を誇る陰陽博士芦屋道満と対立、陰陽道の秘術をつくす。母親の残した歌を手がかりに、再び故郷の信太の森をたずねた童子は、そこで十三年前の家族の解体と父親の死の真相を知ることになる。と同時に道満の陥穽に落ちて捕えられてしまう。

そして童子処刑の日、一条戻り橋の祭壇に、検非違使のきびしい警固をかいくぐって、母狐は、わが子救出に現れる。



きつね葛の葉

恋しくば尋ね来てみよ森こえて

母は尾のある狐なりしを 寺山修司

キャスト

説教節政太夫

長谷川恵子（歌唱録音）

青江 薫

村田弘美

花岡雪花

岡庭秀之

加藤史也

飛永 聖

河野真弓

真上沙剣

飯島一代

堀井 寛

松永 隼

唐沢宏史

森 敬子

相原るり子

梅本正三

御法川真弓

スタッフ

短歌・詩

脚本・演出

音楽

振付

照明

音響

衣裳

美術

書

演出補

運営

舞台監督

舞台スタッフ

広報

宣伝美術

制作

統括

寺山修司

白石 征

J・A・シーザー

三上宥起夫

花柳輔礼乃

小粥新一

曾我 傑

花柳輔礼乃

水島 孝

増田隆子

岩崎 烈

河野真弓

井内俊一

清水義幸

小川信濃

江連亜花里

袖岡三津男

市川勝典

高須譜生

矢野彰教

新戸雅章



書 増田隆子

10月27日(日) 1時

協力

歴史と芸能が息づく
特別シンポジウム
(入場無料)
藤沢文化の地層をめぐる
講師 佐江衆一 新戸雅章 白石 征 ほか
講師が、当日変更になる場合があります。予め御了承下さい。

テラヤマワールド
演劇実験室⑦万有引力
踊民偶
開座
ポトビの会
阿部照義
三上晴夫
松本邦裕
熊本俊太郎
佐藤雅春

ホームページ
<http://plazal6.mbn.or.jp/~yugyosya/>



お問い合わせ

遊行舎
Tel & Fax 0466-34-9841

遊行かぶき実行委員会
Tel & Fax 0466-27-3267
携帯 080-5065-3267

藤沢駅北口徒歩15分
※車での来場はご遠慮下さい

